



荒神山から見た南部配水池
(手前が新しく完成した2号池)

さらに前進します

水道水の安定供給

南部配水池2号池が完成

清崎町と稲里町にまたがる山崎山に、二つ目の配水池が完成しました。新しくできた配水池の容量は5千 m^3 。平成10年8月に完成した1号池と合わせて、1万 m^3 の水道水が山崎山に貯えられます。

配水池の大切な役割

配水池とは、浄水場できれいになった水を、家庭や事業所などに送るまでの間、貯めておくところです。

本市では、山崎山や雨壺山あまつぼなどに配水池を設けていますが、高いところに配水池があると、高低差を利用して水を送り届けることができます。平地に配水池があると、24時間ポンプで水を送り続けなければなりません。また、事故などでポンプが止まると、すぐに水が出なくなってしまう。高いところに配水池を設けると、水が減った分だけポンプで水を揚げればよいので効率が高く、またポンプが止まったときでも、貯めてある水を使いきるまでは断水することがありません。

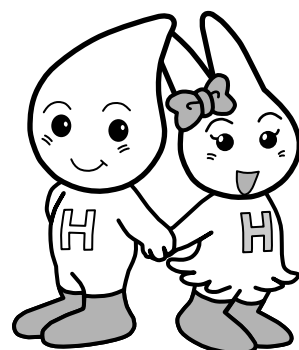
今回完成した2号配水池は、

阪神大震災をもちとした地震にも耐えられる構造を持ち、また、送配水管にもすべて耐震管を使用しています。万一、壁に亀裂が入って漏水しても、水が斜面に流れ出ないよう周囲に高さ60cmの水止め壁を設けています。南部配水池が完成したことで、大きな地震などの災害が起こっても、すぐに断水することなく水道水の安定供給を保つことが期待されます。

今後も計画的に施設の整備を進めます

本市の水道は、昭和33年に給水できる人口を3万2千人、1日の最大給水量を8千 m^3 として始まり、その後拡張を続けてきました。平成12年度末現在の給水人口は10万7,985人、水道普及率は99.6%となり、ほ

問い合わせ先
 市水道部工務課
 ☎22-1411(内線276)



彦根市水道部マスコットキャラクター
 ウォー太くん(左)とみずぎちゃん

ば全市域への給水が可能になっています。現在は、「第5次水道拡張事業計画」に基づいて、平成28年度に予想される給水人口11万8,700人、1日の最大給水量6万8,800 m^3 に対応できるよう整備を進めています。

今後も、市民の皆さんが安心して飲める「安全でおいしい水の安定した供給」を基本理念とし、自然環境の保護、経営の健全化に配慮しながら、災害など緊急時にも対応できるように施設の整備拡充に努力していきます。

水道水は安全です

悪質な家庭用浄水器の訪問販売にご注意を！

悪質な家庭用浄水器の訪問販売については、「広報ひこね」でこれまでも注意を呼びかけてきましたが、最近もなお、家庭を訪問する業者があるようです。水道水の検査のようなことを行い、水質に問題があるかのような説明をして、家庭用浄水器を販売することですが、市が浄水器を販売したり、販売を委託することはありません。

市は、法律に基づいて安全な水道水をお届けしています。

また、市の職員が家庭を訪問して水道の検査をするときは、職員証をお見せするなど身分を明らかにしますので、どうぞご確認ください。

問い合わせ先 市水道部大藪浄水場 ☎22-3324